



ところで...





クローバー・コンセプト

中越復興に愛を入れたら

中 越 復 興

愛

Chuetsu Revitalization

LOVE



クローバー・コンセプト

茎－維管束

葉－葉脈



茎 — 根から葉へ栄養を運ぶ

- ・ 拠点駅
- ・ 市役所
- ・ 総合病院
- ・ 高等学校
- ・ スーパー

ムラの拠点

- ・ 支所
- ・ 診療所
- ・ 郵便局
- ・ 小中学校
- ・ 福祉施設

マチの拠点



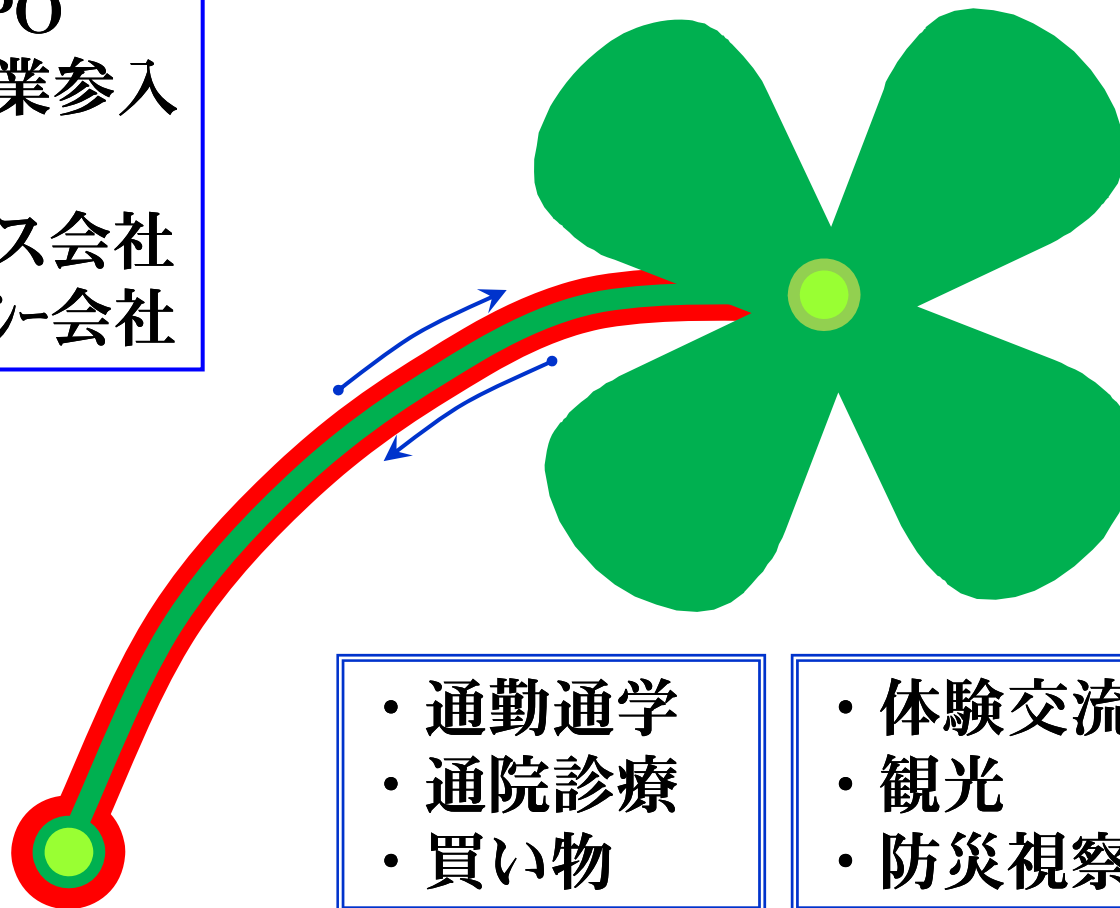
茎 — 根から葉へ栄養を運ぶ

運営主体

- NPO
- 企業参入
- バス会社
- タクシー会社

パートナー

- スーパー
- 病院
- 福祉課
- 交通課



- 通勤通学
- 通院診療
- 買い物

- 体験交流
- 観光
- 防災視察



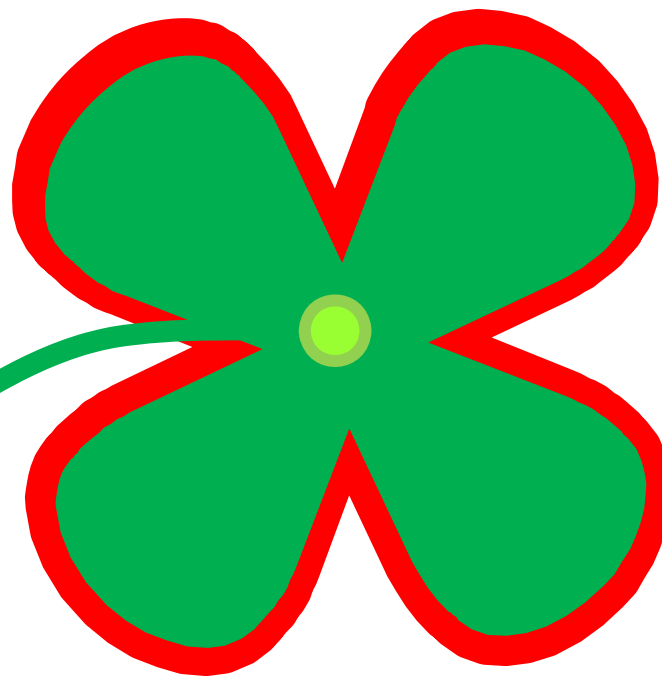
クローバー・シャトル

- 双方向性
 - 「山の暮らしの維持」だけでなく
「山への誘客、交流、訪問」
- パートナリシップ運営
 - 大型ショッピングセンター・病院・行政との
共同運行
- 多機能化
 - ガイドツアー（例：防災、山の暮らし）
 - お散歩ツアー（例：蓬平から山古志へ）



葉脈 — すみずみまで行き渡らせ る

- 中継地へ
- 通勤通学
- 通院



村内循環

- 郵便集配
- デイケア
- 農作業
- お茶のみ



葉脈 — すみずみまで行き渡らせ る

運営主体

- ・ NPO
- ・ 住民

パートナー

- ・ 郵便局
- ・ 運輸会社
- ・ 教育委員会

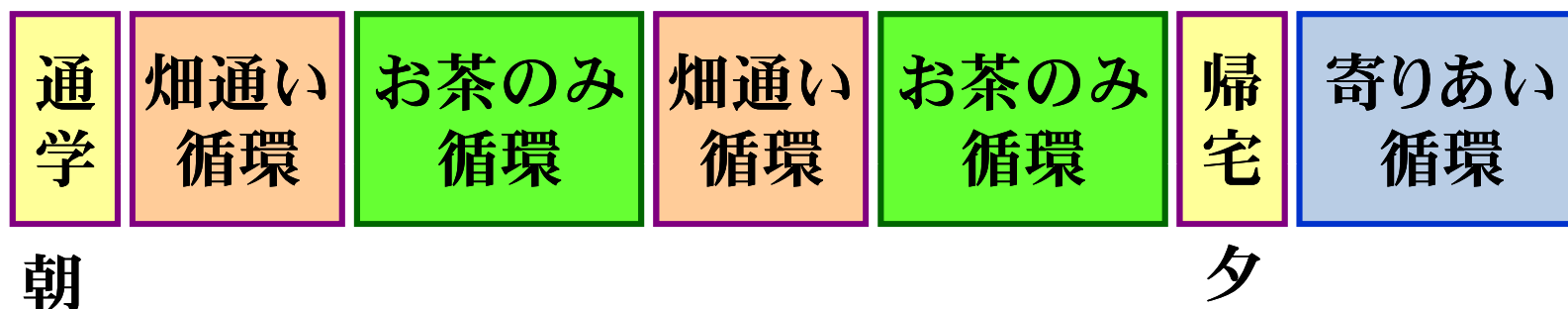
ポテンシャル

- ・ スクールバス
- ・ 福祉車両
- ・ 自家用車



お茶のみ循環バス

スクールバスの活用（公設民営）

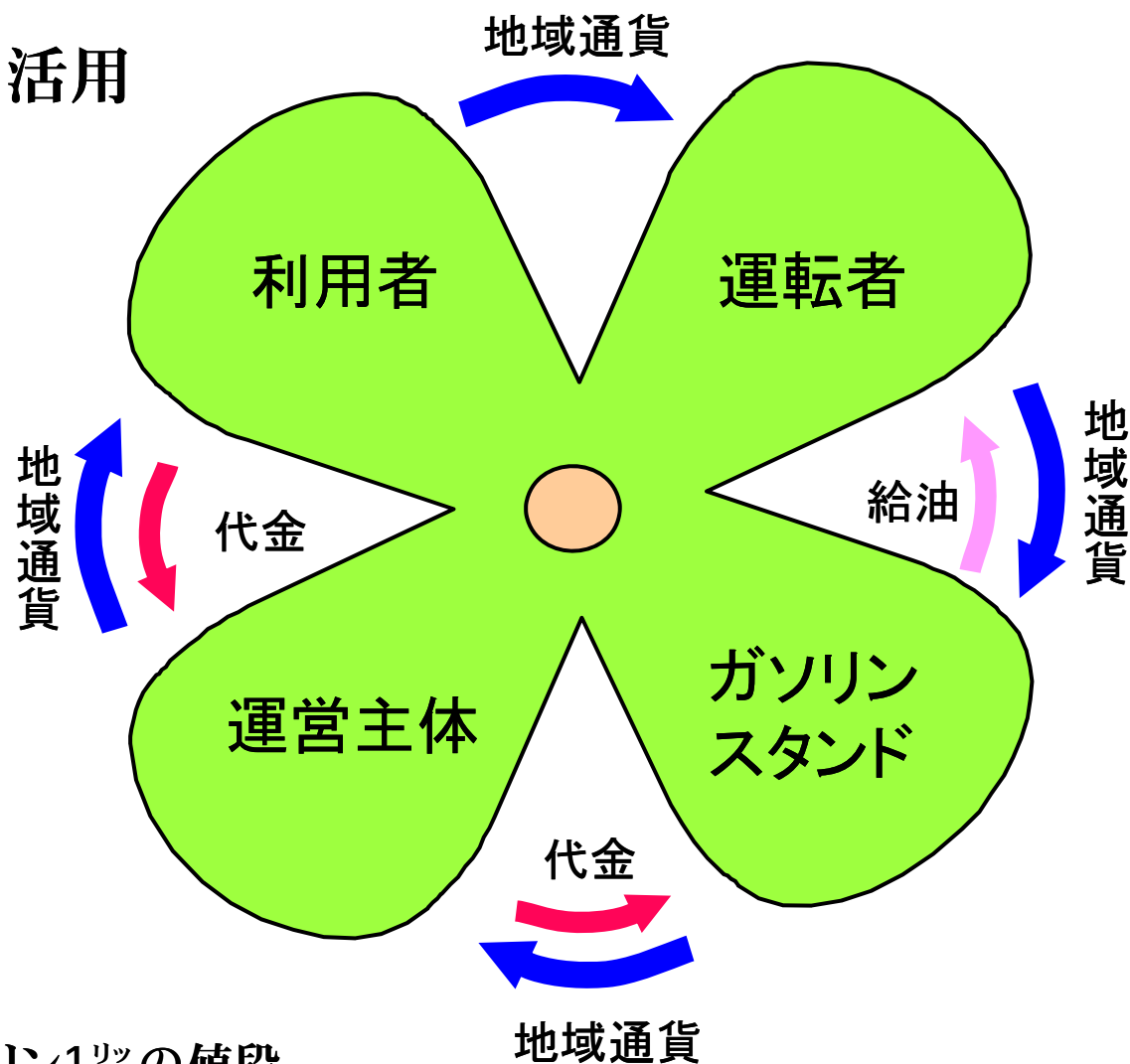


郵便集配・デイケアなど複合機能化



パブリック・ヒッチハイク

地域通貨の活用

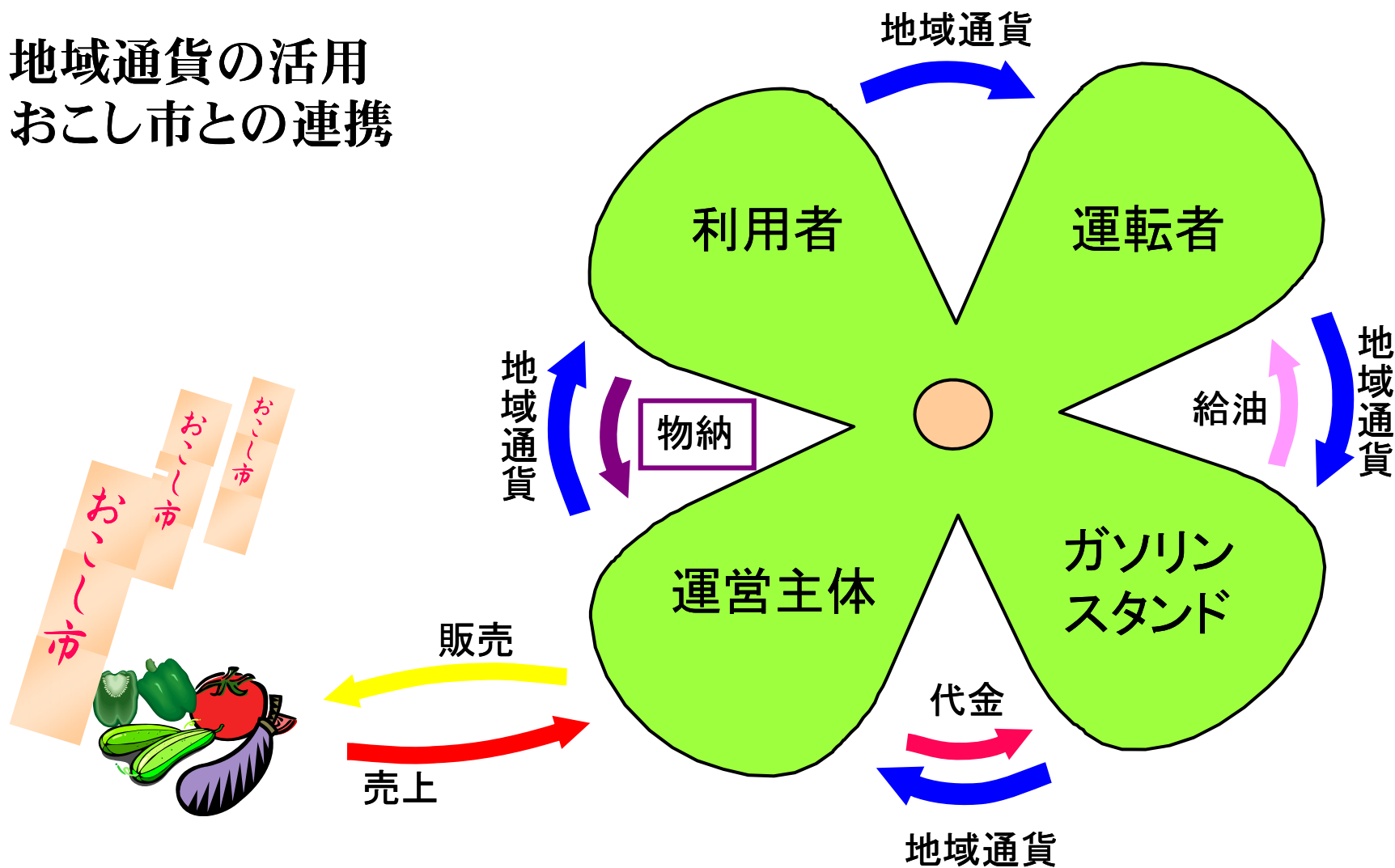


通貨単位：
クローバー＝ガソリン1ℓの値段



パブリック・ヒッチハイク

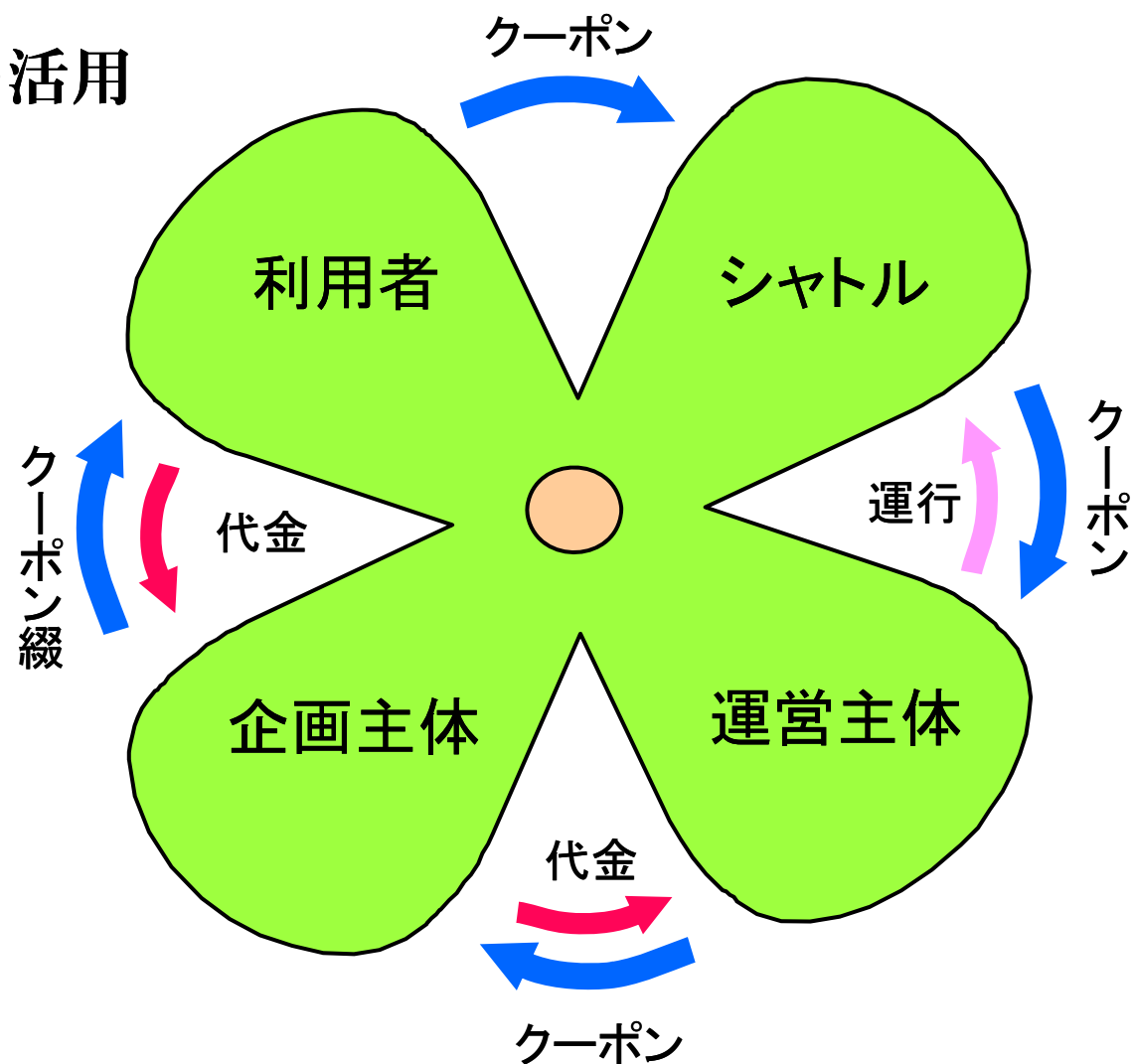
地域通貨の活用 おこし市との連携





クローバー・シヤトル①

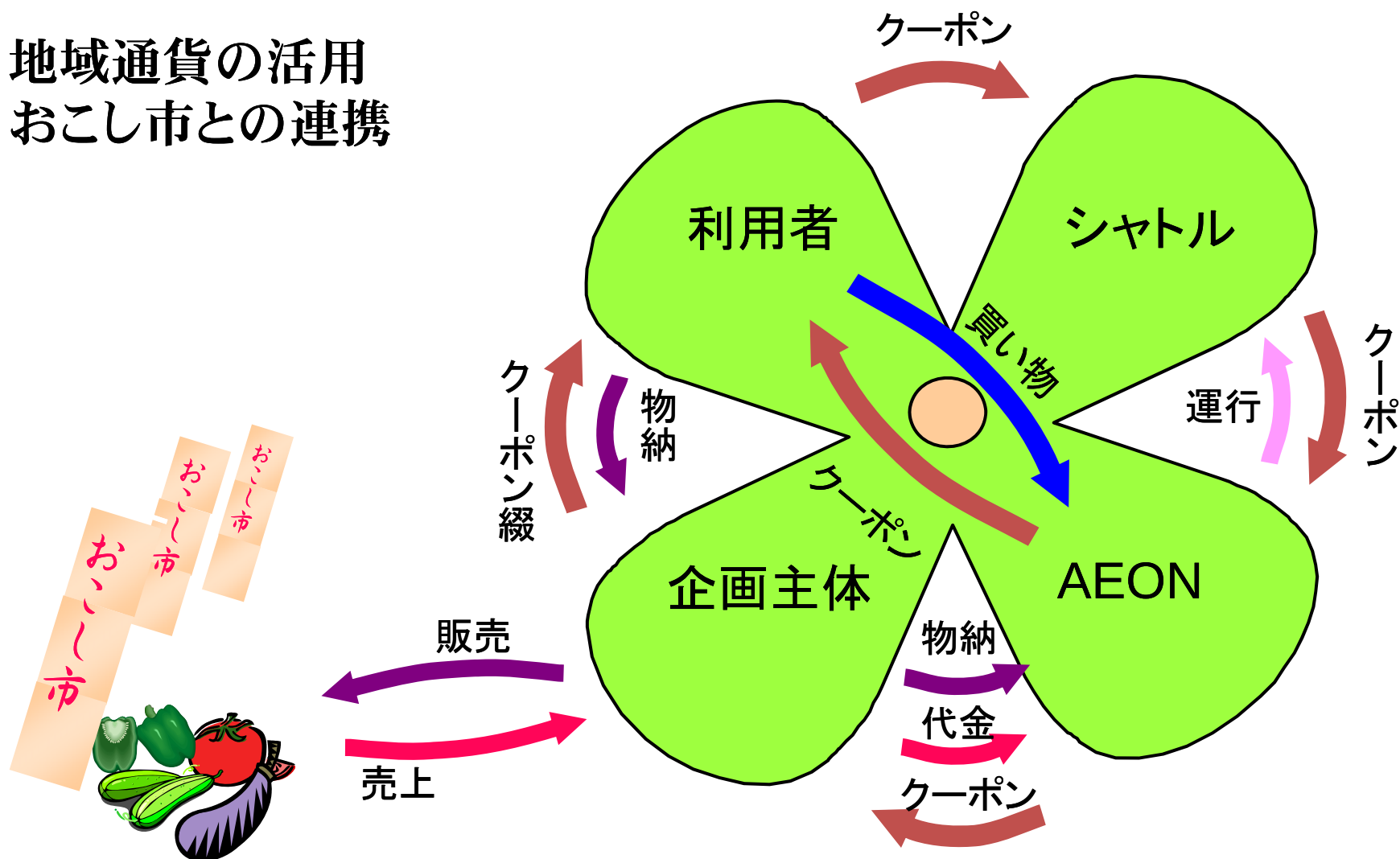
地域通貨の活用





クローバー・シャトル②

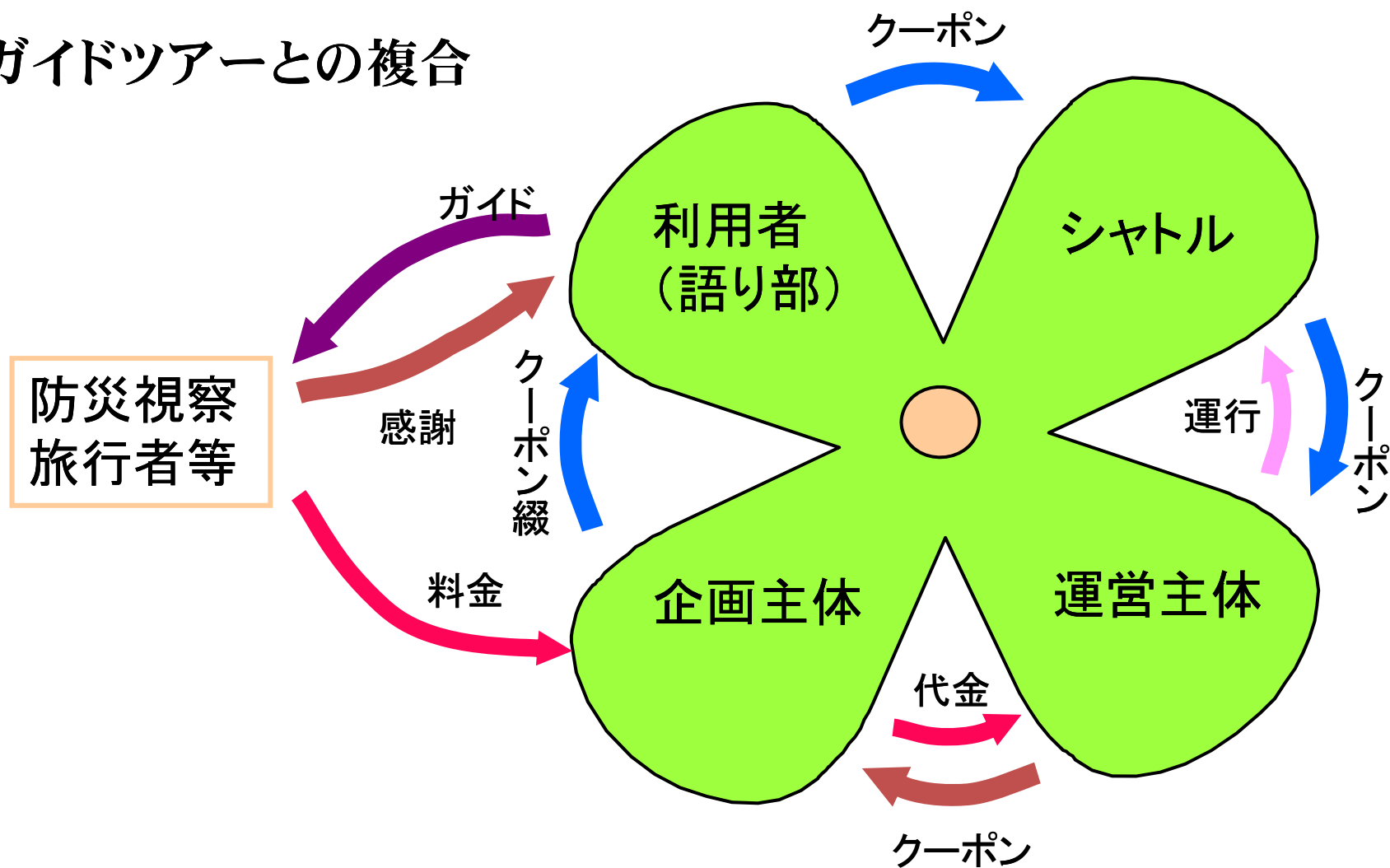
地域通貨の活用
おこし市との連携





クローバー・シャトル③

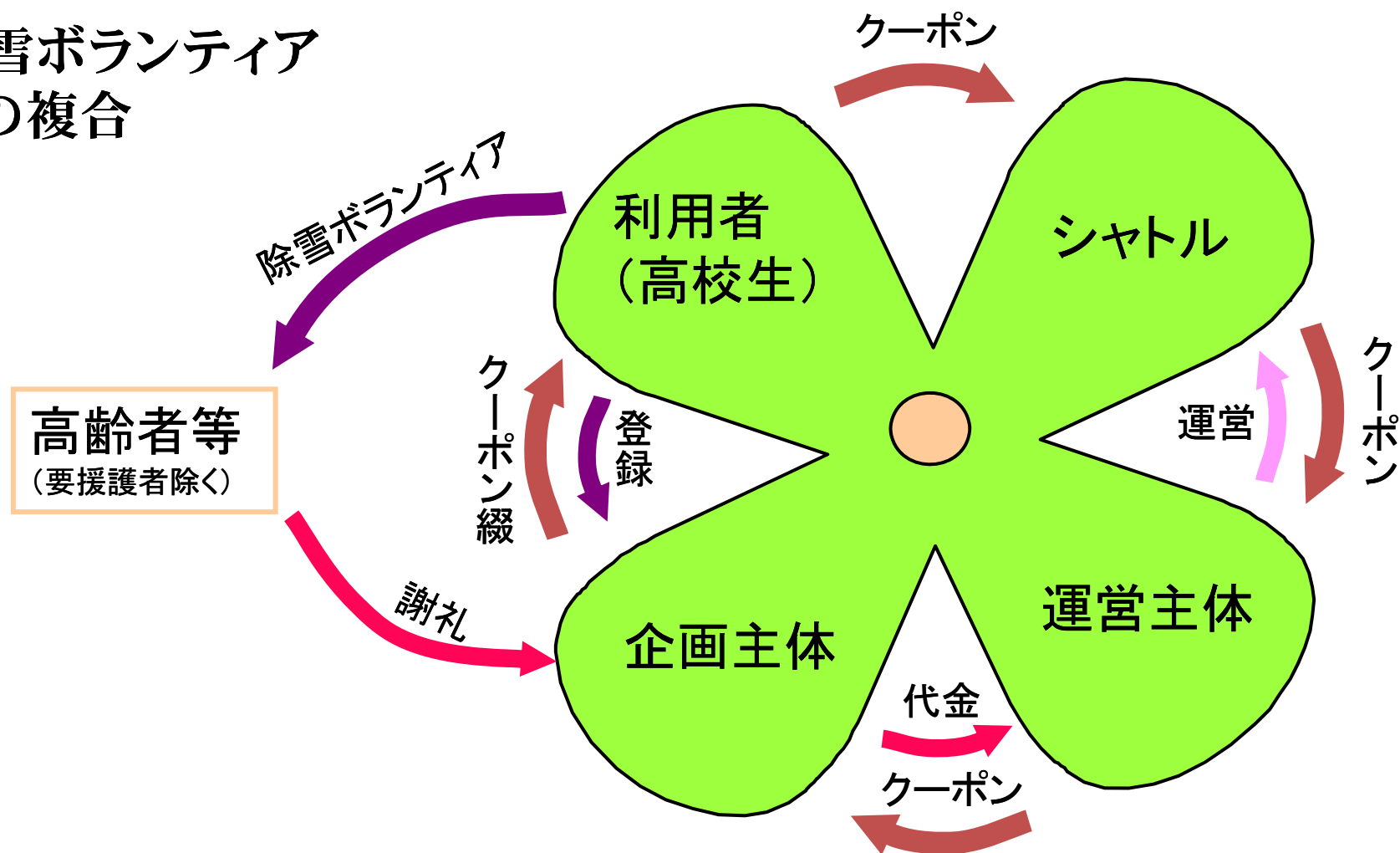
ガイドツアーとの複合





クローバー・シャトル④

除雪ボランティア との複合





効果

- ムラの拠点作り
 - 賑わい・お茶のみ創出
 - 人の流れの制御
 - ライフスタイルの提案
- コミュニティ形成
 - 声かけ・見守り
 - 関係性づくり
- 生業・生き甲斐創出
 - 民営・NPO・地域通貨
 - 民業・官業の受託・委託
 - 交流人口増加
- 本来の「公共」
 - 必要なサービスの提供
 - 適度なサービスの提供
 - 自治・自立・参画
- パートナーシップ^o
 - 行政(教育・福祉…)
 - 民間(商業・医療)
- 地球温暖化防止
 - 乗車率向上
 - 適正サイズの車両
 - 域内循環



コンセプト

- 「自分の役割」を果たすと
「自由な移動」が得られる
- 「経費を出してもらおう」のではなく
「経費を自ら獲得する」
- 「点と点を繋ぐ」のではなく
「人と人を繋ぐ」循環を作る

 地域主体のバス運行へ

復興基金終了後を意識して

- ツアーバス
- 物産品の販売バス, etc...

 クローバーバスで行く
「あまやち会館」昼食・入浴付
山古志 越後牛の角突き バスツアー



行程

9:45	■ 出発 長岡駅東口 E-PLAZA 前
10:30	■ 休憩（昼食・入浴）

 クローバーバス



NPO 法人中越防災フロンティアでは、
開催される「越後牛の角突き」に合わせ
バスを使って長岡駅前から会場まで送迎を
あなたもクローバーバスに乗って「越後牛の角突き」を
心ふれあうめぐりの郷「あまやち会館」でのお食事とご入浴



バスを活用した
収益事業の可能性

地域で生活の足を確保するために

➤「クローバーバス運営移行準備検討委員会」



- ❑ 復興基金終了後の財源確保の検討
- ❑ フロントニアに代わるバスの運営主体の決定



地域で生活の足を確保するために

➤「クローバーバス運営移行準備検討委員会」

復興基金終了後の財源確保について検討中

- ① 会費収入だけに頼らない仕組み(有償化)
- ② 機能別路線に対する長岡市の財政支援
- ③ 地域内生活交通の効率化

	8月	9	10	11	12	1	2	3
・復興基金終了後の財源確保 ・委員会構成メンバーの検討	第1回							
・新メンバーで委員会開催 ・運営母体の検討			第2回					
・運営母体の検討 ・企画バスの検討					第3回			
・運営母体の確立 ・企画バスの検討							第4回	



地域で生活の足を確保するために

— 復興基金終了後の財源確保について検討中 —

①会費収入だけに頼らない仕組み(有償化)

- 年会費は継続しつつ、受益者負担の原則に基づく利用者全員から運賃を徴収する。
- イベント開催時の送迎や、特産物・農産物の搬送にバス車両を活用し事業収入を得る。

②機能別路線に対する長岡市の財政支援

- 長岡駅～村松線と村松～蓬平～山古志支所線を、市の基幹的バス路線と見なし路線を維持する。
- 山古志地域内を運行するクローバーバスについて、市が運行経費の7割を補てんする。

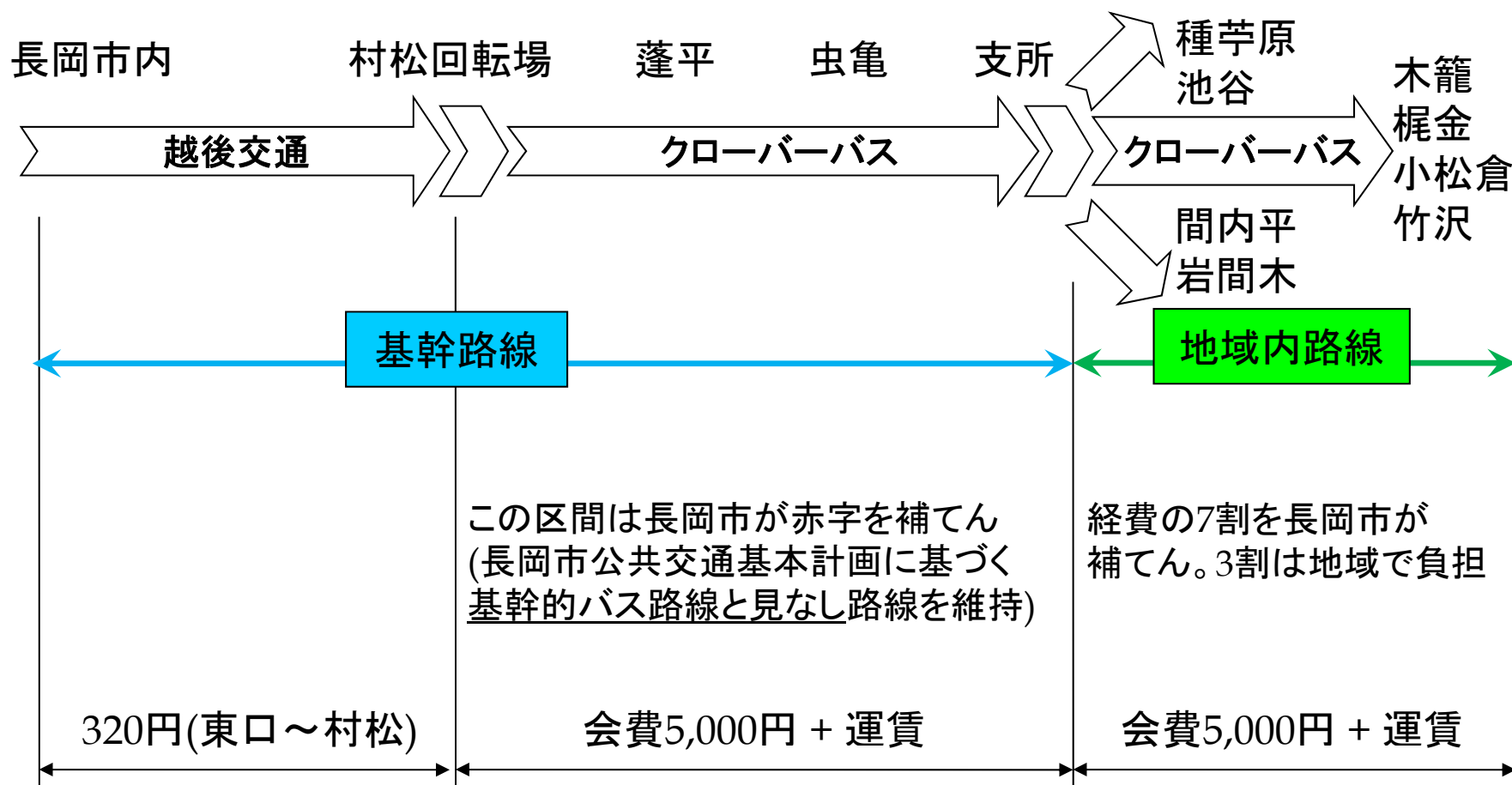
③地域内生活交通の効率化

- 教育委員会が運行する通学タクシーと、クローバーバスを統合することによって、効率的な運行と経費の削減を図る。



地域で生活の足を確保するために

基幹路線 + 地域内路線で切り分け



行政システムの「功罪」

➤ 縦割り行政の弊害



スクールバス



福祉バス



クローバーバス

地域内に3つのバスが存在

➡ 地域内生活交通の効率化・多様化への対応

➡ 地域活性化総合特区に申請

総合特区申請の動き



総合特区とは？

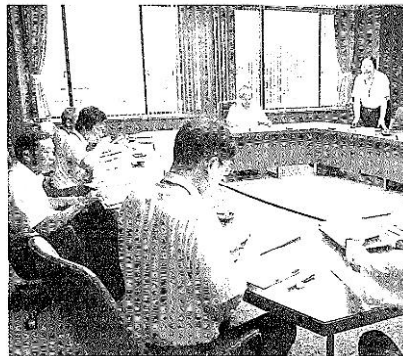
- ◆ 政府が策定した新成長戦略の一つ
- ◆ 産業の国際競争力の強化を目的とした①国際戦略総合特区
地域の資源を最大限に活用した②地域活性化総合特区がある
- ◆ 長岡市は②に申請した。
- ◆ 既にいくつかの特区は規定されているが、今回の自治体からの
申請に当たって、政府は国制の特例を認めること
➤ 「長岡市中山間地域自立促進協議会」を発足(H23.8)
- ◆ 長岡市地域振興戦略部(事務局)
- ◆ (財)山の暮らし再生機構
- ◆ (社)中越防災安全推進機構
- ◆ NPO中越防災フロンティア
- ◆ NPOもったいない(MTN)サポート
- ◆ NPOフォーラム栃尾ネット
- ◆ 川口をまじめに考える会





総合特区の認定に向けて

➤「長岡市中山間地域自立促進協議会」を発足



総合特区指定に向け協議された
長岡市中山間地域自立促進協議会
会々18日、同市役所

市 来月申請へ協議会設立

中山間地域大まかな位置づけを
受けて、協議会設立に向けた
バス路線の整理などについて、
市役所では、中山間地域自立
促進協議会を設立し、協議会
にバス事業者や民間事業者など
が参加し、協議を進めること
とした。

バス事業拡充を検討

山古志など4地域

中山間地域振興へ総合特区

協議会設立が、中山間地域の自立促進に
日までに、協議会が協議会と財政上の支援を受け、協
会が協議会を設立する方針を固めた。中山間地域に申請する
対象地域は山古志・太田・小国・榑戸・川口の4地域で、「ミ
ニシティバス」の充実を進め、指定に向けて、各
地域で活動する協議会を設立する。中山間地域自立促進協議会
を設立した。

協議会設立が、中山間地域の自立促進に
日までに、協議会が協議会と財政上の支援を受け、協
会が協議会を設立する方針を固めた。中山間地域に申請する
対象地域は山古志・太田・小国・榑戸・川口の4地域で、「ミ
ニシティバス」の充実を進め、指定に向けて、各
地域で活動する協議会を設立する。中山間地域自立促進協議会
を設立した。

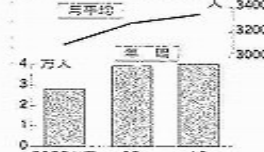
長岡市は中山間地域の
活性化を図るため、
協議会を設立する。
協議会の一の目的は、
協議会が協議会と財政上の支援を受け、協
会が協議会を設立する方針を固めた。中山間地域に申請する
対象地域は山古志・太田・小国・榑戸・川口の4地域で、「ミ
ニシティバス」の充実を進め、指定に向けて、各
地域で活動する協議会を設立する。中山間地域自立促進協議会
を設立した。

長岡市、中山間地の「特区」申請 地域バス、有償化で自立



利用者が累計10万人を超えた
クロアバスのバス（山古志）

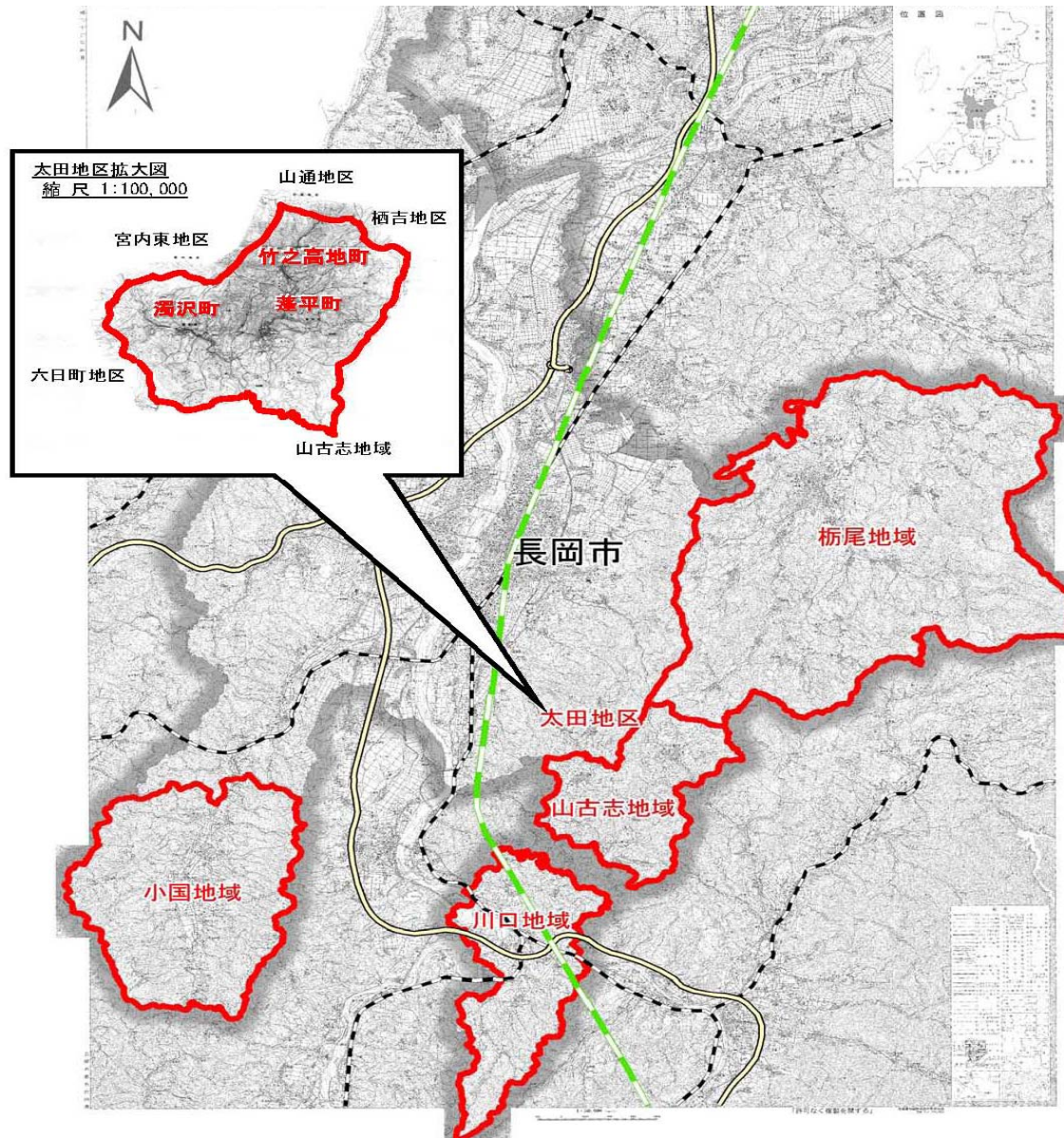
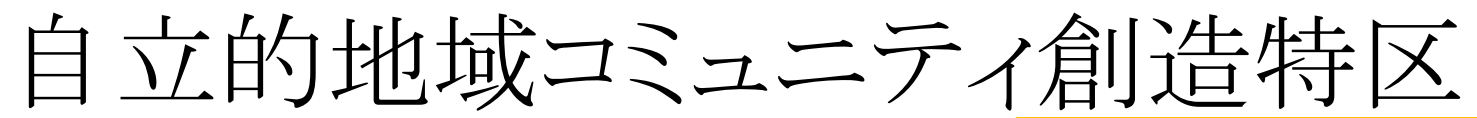
クロアバスの利用者数



古志など 多目的利用にも期待

協議会設立が、中山間地域の自立促進に
日までに、協議会が協議会と財政上の支援を受け、協
会が協議会を設立する方針を固めた。中山間地域に申請する
対象地域は山古志・太田・小国・榑戸・川口の4地域で、「ミ
ニシティバス」の充実を進め、指定に向けて、各
地域で活動する協議会を設立する。中山間地域自立促進協議会
を設立した。

新潟





総合特区の認定に向けて

8/18、9/1、9/27の三回にわたって協議会を開催



9/30に内閣府に提出

申請した地域活性化総合特区の名称

持続可能な中山間地域を目指す自立的地域コミュニティ創造特区

申請対象地域

①山古志・太田地区 ②小国 ③栃尾 ④川口

具体的には



生活交通事業(クローバーバス等)において

①過疎地有償運送の旅客範囲の緩和

②自家用マイクロバスの貸し渡しの許可基準の緩和

を申請したが、今後も継続して協議会で審議し、追加で申請手続きを行っていく。



クローバーバスと明日の中山間地

新潟県中越大震災からの中山間地域の復興プロセスロードマップ

2004.10.23

中越
大震災

復興ビジョン

(2014年の二つの記録)

急激な
過疎・高齢化
の進行

コミュニティ

(危機感の顕在化、
地域資源の見直し、
価値観の変化)

復興基金

独自財源
(被災地ニースを反映)

中間支援組織
とその活動

3極構造
(パートナー型支援)

2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014

新潟県中越大震災復興計画

【第1次】復旧段階
(滑走・離陸期)
「創造的復旧」

【第2次】再生段階(上昇期)
「活力に満ちた
新たな持続可能性の獲得」

【第3次】発展段階
(快調飛行期)
「震災復興を超えた新しい日常の創出」

【住民の復興意識の醸成】
【「縮小均衡」状態の打開】

【集落の将来ビジョンづくりと実践】
【地域単位の連携意識の醸成】

【地域の将来ビジョンづくりと実践】
【地域経営の仕組みづくり】

依存的
閉塞的
な集落

足し算
の支援

主体的
開放的
な集落

掛け算
の支援

集落維持・活性化
・集落連携
・都市交流
・集落ビジネスなど

乗数
の支援

地域経営(新たな公)
・持続的な住民主体の地域づくり
・地域ビジネス・新規ジョブの生み出し
・公的サービスの補完など

新しい
日常

創発的な手法による支援・公務員参加型地域おこし

支援員・専門家・市町村との協働

国・県・市町村・全国の様々なネットワークとの協働

誇りを取り戻すプロセス

熟度
判定

集落の合意形成プロセス

フォローアップ
調査

地域の合意形成プロセス

【制度の隙間を補完】【集落の回復力促進】

【集落単位の自立促進】

【地域単位の自立促進】※地域・旧町村単位のエリア

被災者住宅復興資金利子補給

個人
対象事業

手作り田直し等支援

地域コミュニティ施設等再建支援(ハード)

集落
対象事業

地域コミュニティ再建(ソフト)

地域復興デザイン策定支援

地域復興デザイン先導事業支援

地域
対象事業

メモリアル拠点整備施設・運営等支援

①地域経営支援

②地域連携推進(ビジネス)

支援団体
対象事業

復興支援ネットワーク

地域復興人材育成支援

地域復興支援員設置支援

【復興支援の模索】

【連携】

【発展】

【新たな支援体制の実験】

【新たな支援体制の仕組化・制度化】

集落支援の模索

集落再生支援チーム

地域復興交流会議

地域復興支援員研修会

地域復興デザイン策定発表会

市民協働条例・新しい公共・総合特区

メモリアル拠点整備・運営支援

地域経営支援・地域連携推進(ビジネス)

農村六起

外部人材の活用・定住促進(インターン・起業)

復興検証・新潟モデルの確立と波及

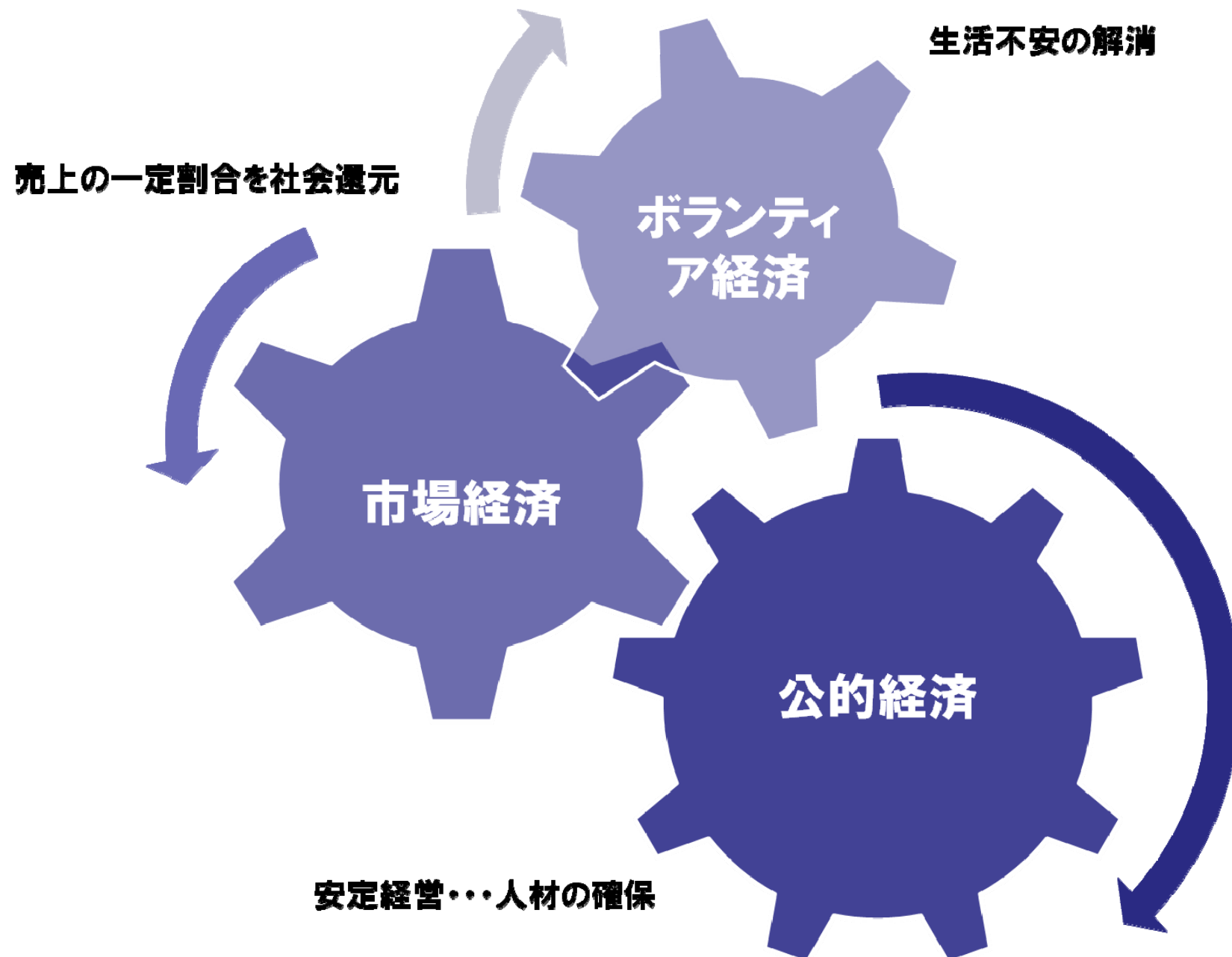
復興プロセス研究会

復興デザインセンター

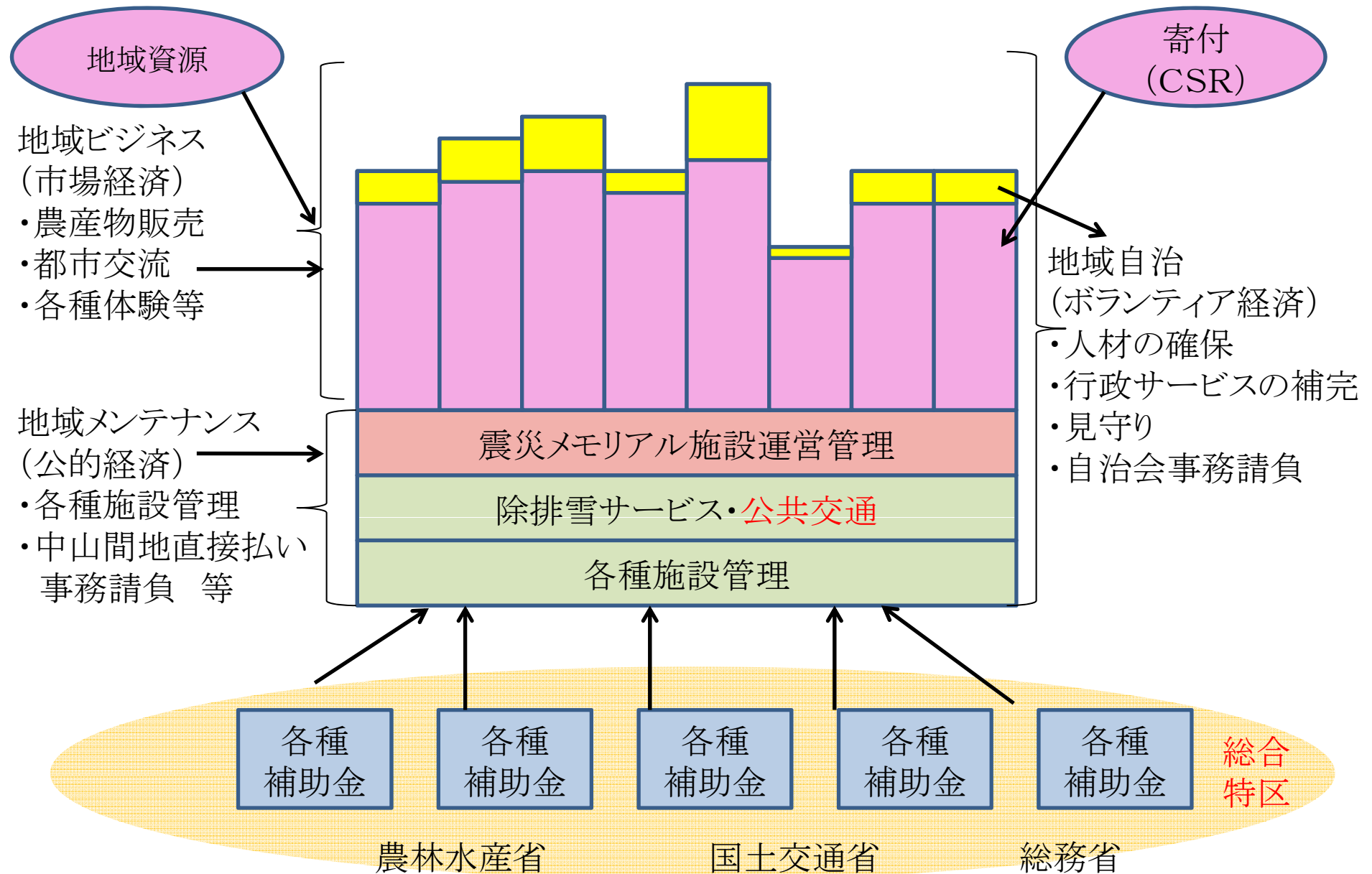
①長岡アーカイブスセンター(災害復興・中山間等地の支援)

②市民協働センター(NPO・コミュニティ等の支援)

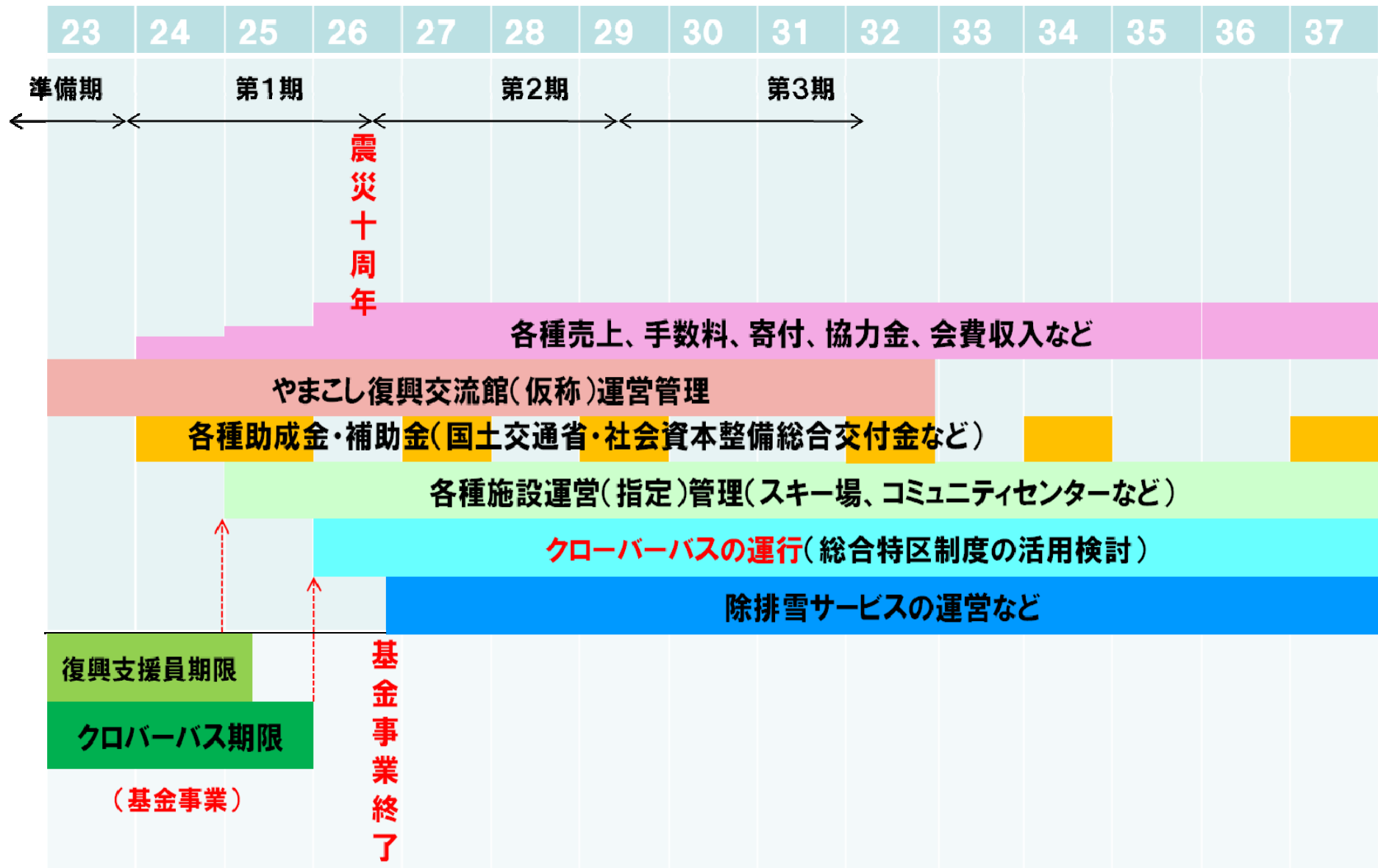
中越復興市民会議



持続可能な住民主体の地域づくりのための仕組みづくりモデル(地域マネジメント組織)



持続可能な住民主体の地域づくりのための仕組みづくりシュミレーション





ご清聴ありがとうございました。

持続可能な住民主体の地域づくりのための仕組みづくりシュミレーション（川口地区）

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
きずな館設置			震災十周年											
各種売上、手数料、寄付、協力金、会費収入など														
「川口きずな館」運営管理（人件費）														
各種助成金・補助金（国土交通省・農林水産省・通商経済産業省など）														
				各種施設運営（指定）管理（川口運動公園施設、コミュニティセンターなど）										
				株式会社ファーム越後川口（あぐりの里）との協働										
				黄色バス・除排雪サービス運営 など										
地域復興支援員（基金）														
（基金延長検討）														

基金事業終了
支所機能補完



「川口きずな館」の当初5年間の検討及び運営スキーム(案)

22	23	24	25	26(年度)
準備期 9月	10月 (「絆館」オープン)	第1期		第2期 震災10周年
【検討組織及び運営組織】 ○…実施主体及び経営主体				
意見交換 会ほか	展示・運営 委員会	NPO法人設立準備	NPO法人設立	
○(社)中越防災安全推進機構 ・(財)山の暮らし再生機構 ・長岡市川口支所 ・えちご川口農業振興公社 ・川口商工会(観光協会) ・各集落団体代表 ・えちご川口交流ネットRENほか	移行 ○(社)中越防災安全推進機構(専従) ・(財)山の暮らし再生機構(地域復興支援員) ・長岡市川口支所 ・えちご川口農業振興公社 ・川口商工会(観光協会) ・各集落団体代表 ・えちご川口交流ネットRENほか			○NPO法人設立 ・(社)中越防災安全推進機構はパートナーとして支援
【検討事項】				
◆展示・運営委員会 施設運営、施設設備 集落連携、情報発信 周辺施設活用検討 地域通貨の活用検討 ↓ ◆えちご川口交流ネットREN ・体験交流部会 ・イベント部会	◆新NPO法人への移行 施設運営準備 施設施工 各種トライアル ・情報発信、集落連携 ・周辺施設活用 ・体験交流部会 ・イベント部会	施設運営、イベント運営協議 震災10周年イベントの検討 あぐりの里と連携した事業検討 本格実施		
【特記】 各種補助金の活用検討 各種施設運営(指定)管理の検討 NPO法人設立に伴う株式会社ファーム越後川口との合併検討				

「川口きずな館」を核とした川口における地域経営組織の確立と活動（案）

